

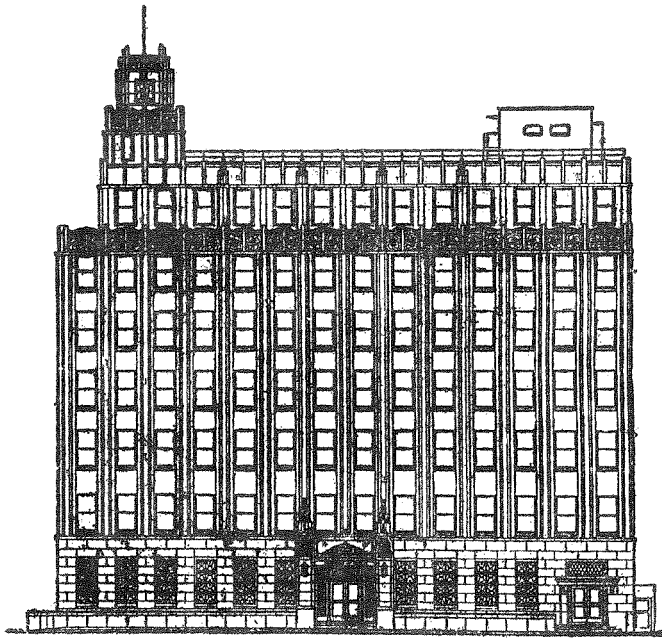
産業組合中央會館建築工事

産業組合中央會
臨時建築部主任技師 田 中 秀 夫

非常時局中の建築工事難時代を押切つて、産業組合中央會館の新築工事は無事竣工して、丸ノ内の南部に其偉容を現した。時局の影響をうけて各工事関係者の犠牲的努力は多大のものであつたと思はれる。設計上の特色と俱に此等施工上の特性も参考とすべきである。(編者)

位 置	東京市麹町區有樂町一丁目十 一番地	樣 式	近世式
敷 地 面 積	410.246坪(1,356.18平方米)	構 造	鐵骨鐵筋コンクリート造、耐 震耐火構造(基礎は地下70尺第三紀層に深 礎工法による礎柱を築造す)
建 物 面 積	336.649坪(1,112.89)	外 部 仕 上	南及西側壁は地上より2階窓 臺迄花崗石貼(正面中央玄關廻り彫刻入) 其他は「タイル」貼扶壁上部及塔屋頭部は 「テラコッタ」貼仕上とす
建 物 延 面 積	2,828.375坪(9,350.00)	窓及出入口金物	外部窓は「スチールサッシ ユ・エアタイト」上げ下げ式とし、「ペイン ト」塗仕上とす、玄關各出入口扉は「プロ
建 物 階 數	地上7階、地下2階、外に塔屋		
建 物 高 サ	地上正面扶壁上端迄28米10 塔屋扶壁上端迄35米55		
設 計 要 旨	全國15,000餘の産業組合の中 央機關としての事務所たるの他講堂及産業 組合學校を併置す		

1. 南正立面圖。





2. 産業組合中央會館外觀。

ンズ」製唐戸及硝子戸とし、同所「グリル」は「ブロンズ」製とす、室内各出入口は鐵製扉「ペイント」塗仕上とす、1階窓廻り「グリル」は鑄鐵製「ブロンジング」仕上とす、外部北側窓及階段室境は防火扉及「スチールシャッタ」付とす

内 部 仕 上

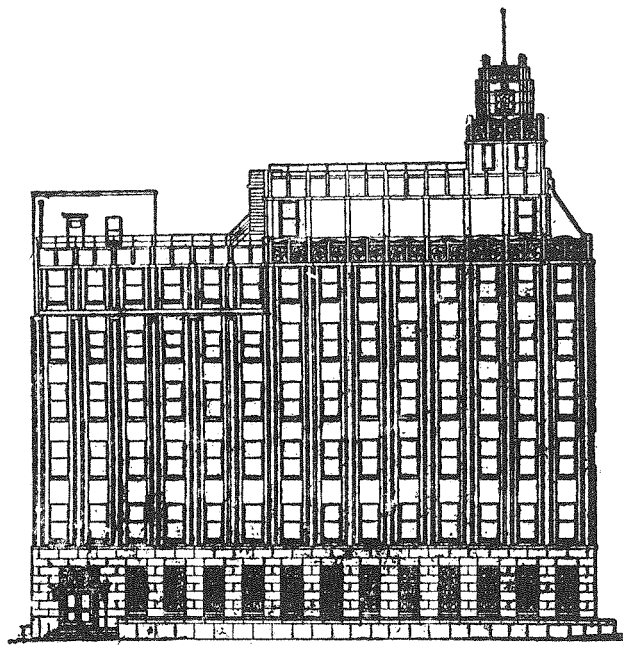
床 主要出入口其他は花崗岩貼、一般事務室及廊下は「フロアリングブロック」貼、會頭室及理事室は「バルケットブロック」貼絨氈敷、會議室階段及廣間は「リノタイル」貼、洗面所、便所其他は「モザ

イツク」タイル貼とす

腰及巾木 主要出入口其他は大理石及花崗石貼、一般事務室は檜椽甲板貼、會頭室及理事室は「ウォルナット」及「クルミ」板貼、廊下は大理石及「タイル」貼、會議室其他は壁紙貼、階段及便所其他は大理石及「テラゾー」又は「タイル」貼とす

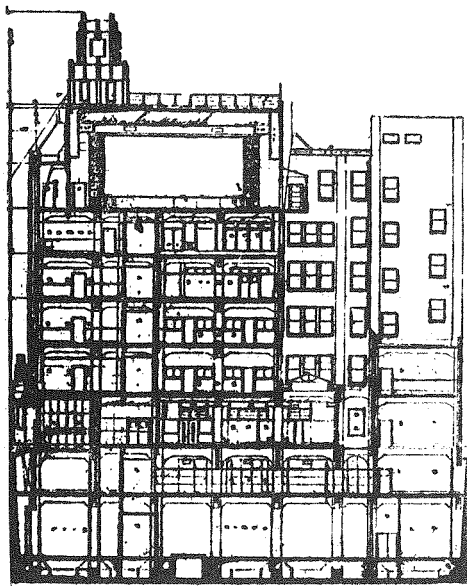
壁及天井 一般事務室玄関、廊下其他は漆喰塗、會頭室及理事室は壁紙貼、會議室其他は「コルク」吹付「ペイント」仕上とす

講 堂 床「フロアリングブロック」

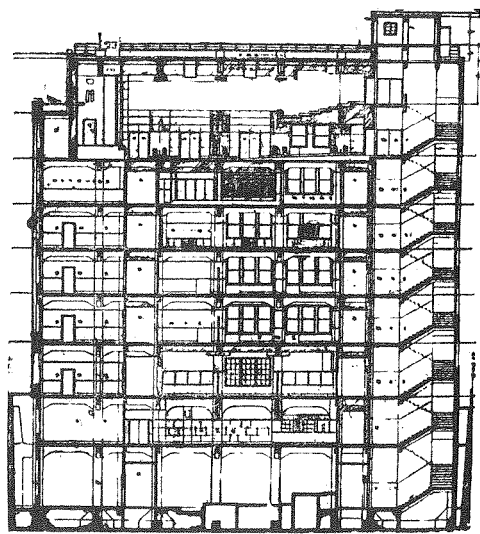


3. 西側立面圖。

4. 橫斷面圖。



5. 縱斷面圖。



貼とし休憩室及遊歩廊下廻りは「リフタイ
ル」貼、腰巾木及壁は「ゼブラウッド」「チ
ーク」及「プラトン」貼天井其他は纖維板
貼「ペイント」仕上とす

附 帯 設 備

電 燈 設 備 照明燈1010個(燈器618個)、
表示燈20個、卓上燈又は扇風機用承口 141
個、停電時用燈138個

電氣暖爐設備 承口總數 100個(1承口3KW)
事務室其他特殊室に設け蒸汽暖房休止後の
採暖に供す

講堂電氣設備 客席照明(天井建築化照明、
「ギャラリー」下天井燈及壁付「ブラケッ
ト」)

舞臺照明

脚光 (長さ10米1列 60W60燈、4色、各色
16燈)「ボーダーライト」(長さ10米2列 1
00W56燈、4色、各色14燈)

「ステージポケット」(8ヶ所)

「インターバル」(ネオン管燈装置)

調 光 装 置

映寫用直流電氣

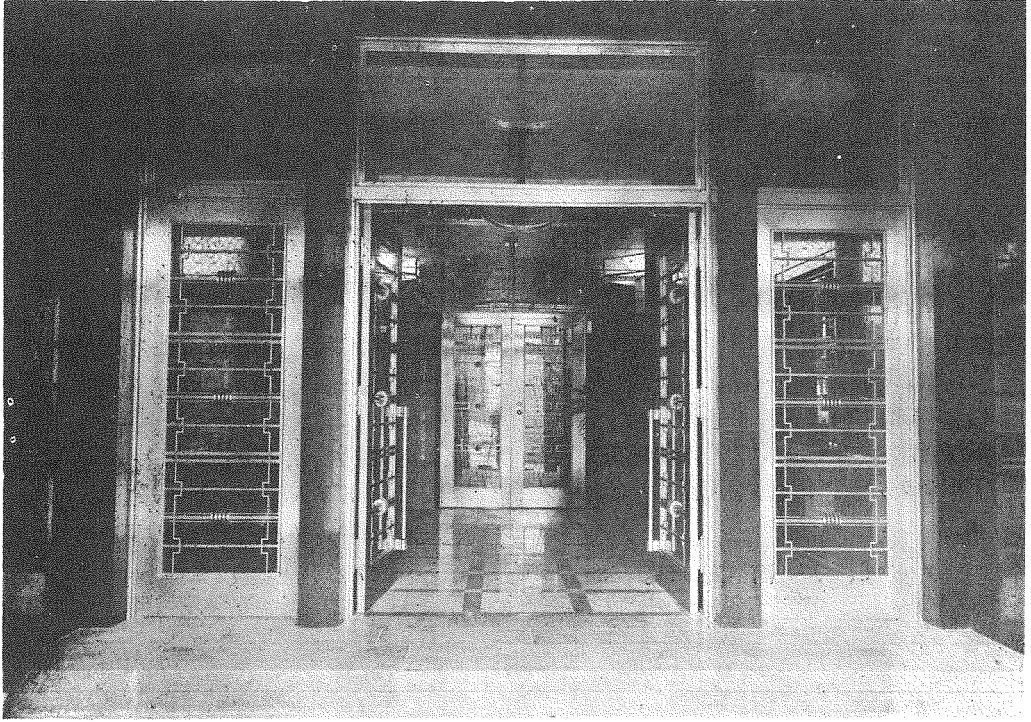
動力線設備 昇降機、各種唧筒及冷房装置
等計31ヶ所の電動力設備に對する配線

避雷針設備 基数5、塔屋、煙突及屋上階
等に設く

變電室設備 冷房用動力3800V25KVA、
燈用175KVA(二次、200V單相三線式)、
動力用225KVA(二次、200V三相三線式)

6. 正 面 入 口。





7. 正面玄關。



8. 會 頭 室。

電氣暖爐用225KVA (二次、200V三相三線式)計880KVAの設備容量を有し二系統の高壓電氣をり込み一方を豫備電源とす、別に停電時用燈電源として10KWの「ガッリン」發電機及映寫機用電源として直流4.5KWの水銀整流機を備ふ、

電 話 設 備 對自動共電式復式交換機
二臺 四座席

局線容量 20回線 實裝20回線

私設線容量 180線 實裝 120線

電 話 機 120個

「インターホン」 18個

電力裝置 181AH蓄電池 2組

電 鈴 設 備 一般喚呼用 116回線

警報及開會用 各1回線

登退表示燈設備 26窓交流 100V「ネオン」

球使用幹部呼出信號裝置付 26ヶ所

火災警報設備 自動火災警報裝置 12ヶ所

消火栓警報裝置 19ヶ所

MM式火災警報裝置 1ヶ所

擴 聲 設 備 「ラヂオ」用「セット」

2臺(全國並都市放送用)

「スピーカー」 10ヶ所

演壇用擴聲裝置 1臺

發聲映畫用擴聲裝置 2臺

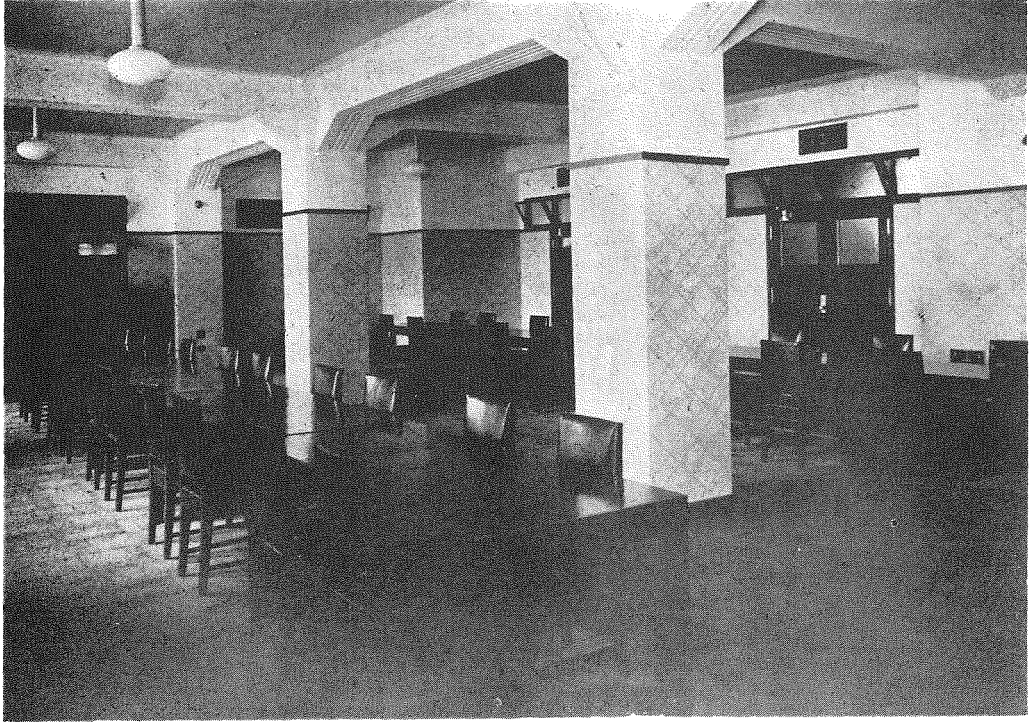
電氣時計設備 自動用手働捲親時計付二回路
用配電函 1臺

子時計 103個

電力裝置、60AH攜帶用蓄電池(火災警報
裝置に併用) 2組

空氣調和裝置 1階以上各事務室其他及第1

地階食堂は真空式直接蒸氣暖房とし、之に機械換氣を附設す、換氣は溫濕度を調節し得る外夏季冷房をなし得る設備とす、6階大講堂は溫濕度を調節し得る間接暖房とし夏季亦冷房をなし得られ前記事務室用とは別の専用設備とす、地階中更衣室其他館員詰室は濾過清淨せる外氣を送入し1年を通



9. 會 議 室。

じ換氣を行ひ冬季は間接暖房をなし得る設備とす、汽罐室其他機械室は全部第2地階に設け汽罐は鑄鐵製組合罐2臺を設置し「ストーク」を附設す

排氣装置 地階にある厨房、倉庫、浴室、便所、電池室等は機械排氣をなし3系統の排氣設備をなす、扇風機室は地階及6階に設け6階にある扇風機は地階機械室に於て操作するものとす

給排水及給湯装置 飲料洗面には市水を使用し3階以上は屋上水槽に揚水し之より給水し2階以下は市水直結給水とす、便所洗淨其他雑用水は第2地階鑿井用貯水槽より屋上水槽に揚水し之より給水す、洗面所及浴室には暖房使用季に限り暖房用蒸氣により加温給湯し其他の季節に於て浴室給湯は瓦斯加熱器により加温す

1階以上の各便所洗面器流し等の排水は直接市下水管に連結排水し地階のものは「ボ

ンプ」排水とし尙乾壕其他の排水は之を別箇の「ポンプ」排水とす

消火設備 全館廊下に19箇所の消火栓を設け地階機械室に設備する電動機及發動機直結「ポンプ」と連結し水源は鑿井貯水及市水道とし別に「サイヤミズコンネクション」一箇を設け屋外より給水の設備をなす

氣送管設備 1階に「ステーション」を設け各階に支所を設く

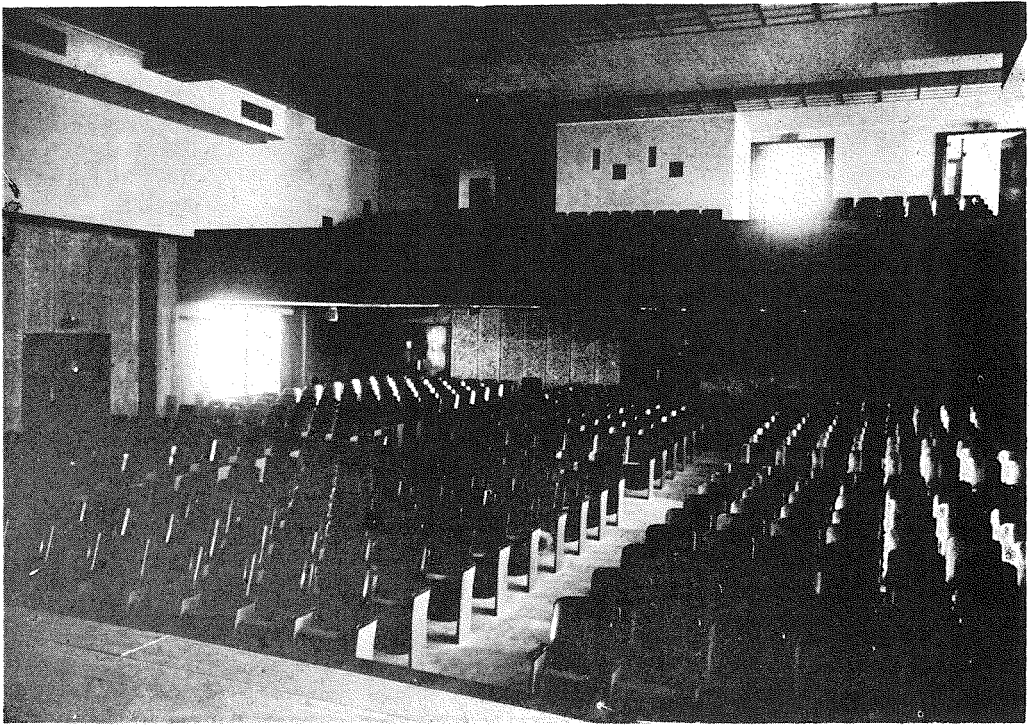
瓦斯設備 各階専用湯沸、事務室豫備暖房、厨房炊飯並に料理用として瓦斯設備をなす

エレベータ設備 各階段に1臺及2臺併列の乗用「エレベーター」を設備す、速度毎分60米にして自動着床式とす、別に配膳「リフト」一臺を設く

工 期 起工 昭和11年7月1日

上棟式 昭和13年8月3日

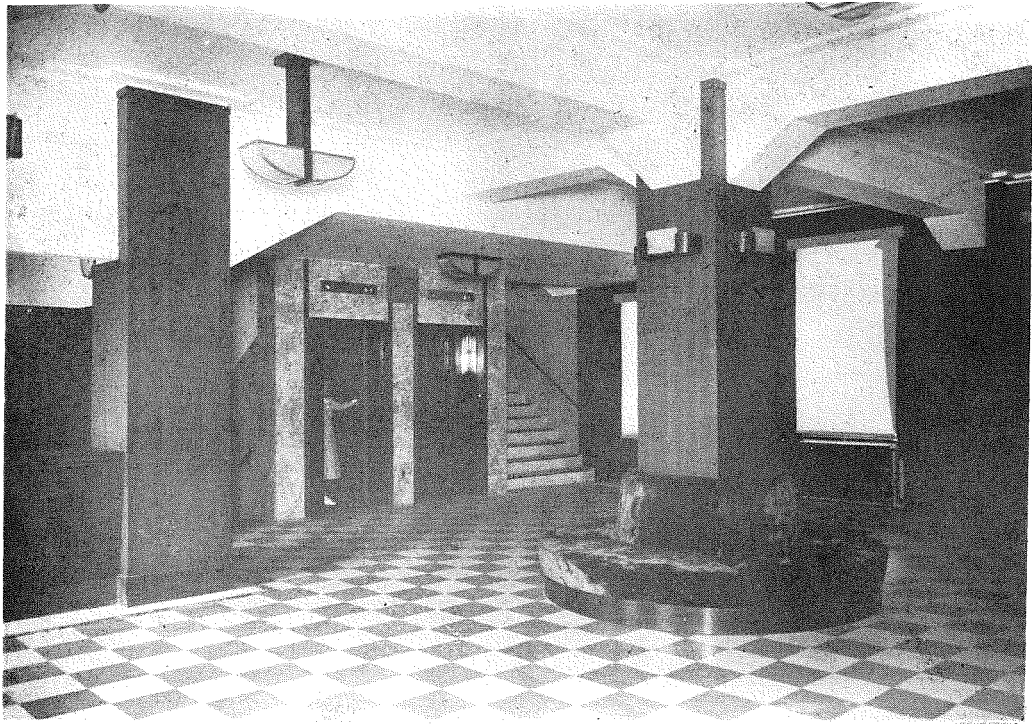
修祓式(竣功式)昭和14年7月18日



10. 講 堂。

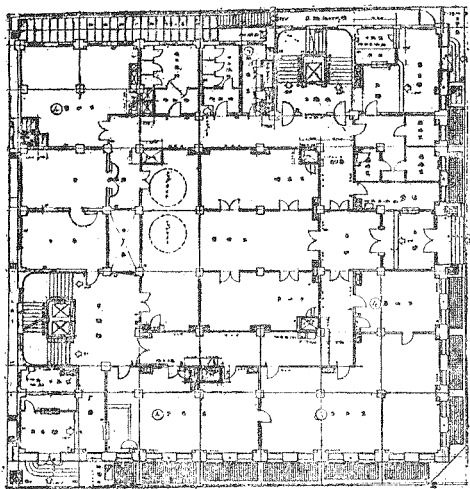
設計及監督 産業組合中央會臨時建築部
 顧問 工學博士 大熊 喜邦
 顧問 工學士 小島 榮吉
 主任技師 工學士 田中 秀夫
 施 工
 建築工事 株式會社 清 水 組
 基礎工事 株式會社 深礎工業社
 暖房、換氣、衛生
 及氣送管設備 三機工業株式會社
 電 氣 設 備 株式會社
 工藤電氣工務所
 冷 凍 機 第一工業株式會社
 昇 降 機 日本エレベーター
 株式會社

變電設備 日新電機株式會社
 自家用發電機 淺野物產株式會社
 電燈器具 中村商會製作所
 家具裝飾 株式會社三越
 日本樂器製造株式會社
 內外木材工藝株式會社
 株式會社高島屋
 株式會社松坂屋
 石川匠務所
 東 洋 木 工
 株式會社壽商店
 東北振興ニッポン
 絨氈株式會社
 (以上)

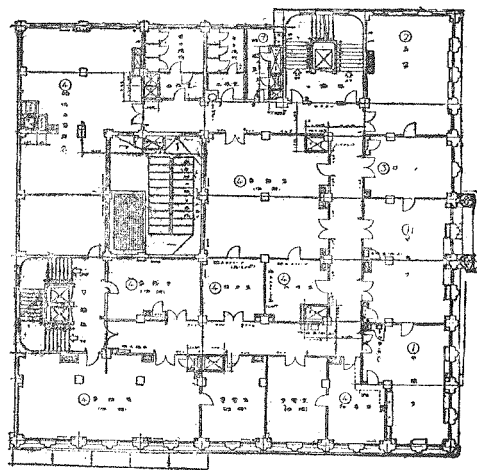


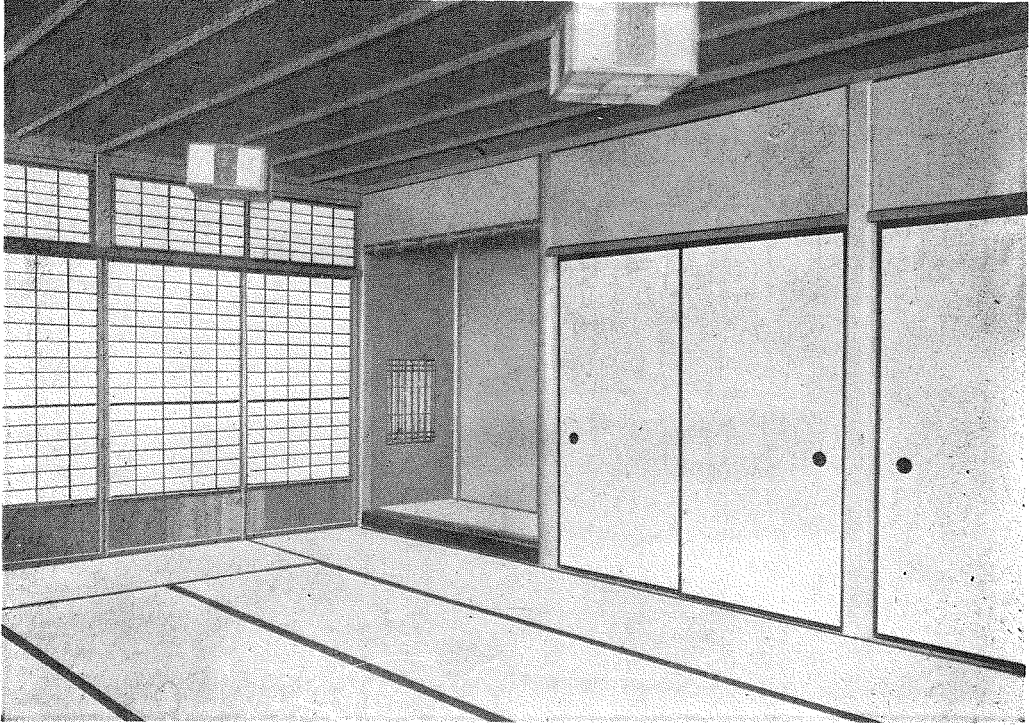
11. 講堂控室。

12. 第1階平面圖。



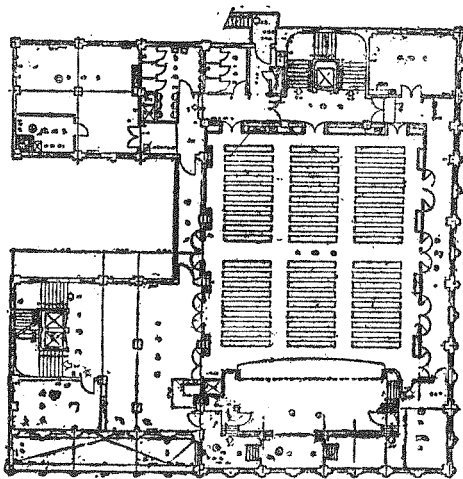
13. 第2階平面圖。





14. 會員宿泊室。

15. 第6階平面圖。



16. 第7階平面圖。

